

1969 - 1970

委員会活動報告書



鹿児島西口-ターリ-クラブ

1970. 6. 25

# 会長報告

会長 佐伯延次郎

私は会長就にあたって、私たちのクラブの歴史と伝統を尊重しつつ、しかも停滞やマンネリ化を避け、生命と発展を旨として「検討と更新」を忘れないことを基本方針としたのでありますが、これがどれほど実践され具体化されたかについてはひとえに全会員諸君の批判にまたぬばなりません。この批判から新年度の新たな発展の契機が生まれることを期待します。

時代の波を受けて大学人の身辺は最近きわめて多事、クラブのために十分の力を傾倒し得なかつたことを深くお詫びするとともに、にもかかわらず協力をあしめられた会員諸君の御厚情に心から感謝申し上げます。

## 幹事報告

幹事 高井敏治

### 1. 本年度会員数

- |           |     |
|-----------|-----|
| (1) 初顔会員数 | 59名 |
| (2) 退会者   | 5名  |
| (3) 入会者   | 7名  |
| (4) 現在会員数 | 61名 |

出席率



当クラブがホストクラブとして世話した

## 会計報告

会計 徳田 基

別表の通りに正確に処理せられ、記帳、現金保管等過誤のないことを報告致します。

## 出席奨励委員会報告

委員長 西郷隆永

委員 浜田 馨

鮫島志芽大

林 幸光

会長、幹事をはじめ会員の積極的なご協力によって、下期(5月迄)の平均出席率も99.10%と上期(99.16%)に引続いて好成績を収め、年度初めに計画した出席率100%並に地区内ベスト5の目標も概ね達成出来ました。特に年度間を通じて、会員との間に何等のトラブルもなく大役を終るこゝが出来、会員の皆様のご協力に対し感謝しております。

## 会員選考委員会報告

委員長 島津忠丸

委員 増竹成紀  
" 岩元健吉

当初の計画 10% 増加目標も思いがけない退会者  
などがあった為、実質 2 名の増加に留り、申訳なく  
思っている。会員推選委員はじめ諸会員の御協力を深く  
感謝している。

### 会員推選委員会報告

委員長 岩元正二  
委員 木原良  
" 高田光義

年度初めの計画に従い各会員の御協力を得ながら  
極力適格者の会員推薦に努力した。従って年度内に  
瀬上一郎、岩元基、永田良司、堀井秀志、片平敦、  
新福均、小園正人

以上 7 名の新会員の加入を得た。5 名の退会者があ  
った為結果的には 2 名の増員になっておりますが、  
尚新しい候補者もおりますので、次年度委員会に引  
継いでおきます。

### プログラム委員会報告

委員長 福田敏之

委員 小山幸美  
" 川路清高  
" 竹内安己

1. 基本方針 会員ビジターが例会に出席して良かった  
と思うようなプログラムの編成を基本的な方針とし、個  
人の編成に当ってはバランスとバラエティを考え、内容  
はロータリーにふさわしい品格と親和感があり、有益な  
ものであるように努力してきた。一年間をふりかえって大  
体この基本方針によって実施してきた積りである。

## 2. 計画

1. 例会の卓話原則として ゲスト 50% 会員 25%  
映画その他 25% を基調にしていた。

2. 卓話者の選定に当っては、大体 10 日前には完  
了することにして準備を進めるが、タイムリーなもの  
については随時変更することがある。

3. 反省、卓話者の選定に当り、会員より数々の助  
言をいただいたことは感謝にたえない。今後共  
会員の協力をお願いしたい。

月 日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題 目	職 業	氏 名	題 目	氏 名
7.3				新会長幹事挨拶.	
10				クラブ協議会 委員会活動方針発表.	
17	防衛に対する考察	自衛隊 震地連絡部長	久木田真之助		
24	人間百歳の条件	康大教育学部教授	浜口陽吉		
21	ドル・フラン・マルクの強	(株)かみや社長 R.C. 会員	古木俊雄		
8.7				クラブ協議会 公式訪問E系に	
16	アム. サハ.ニ 推 感	南日本新聞社 社会部長	酒白 順一		
21	日高がハナ一公式訪問				
28	(映画) 明日の気象	MBC提供			
9.4				公証副賞に712	徳田 基
11	アメリカ 一年とわかれ	純心高校三年生	武林 裕子		
18	私の見てきた韓国	韓新しい文化の会 市連合会会長	長野 祐也		
25				観月家族会(城山観光ホテル)	
10.2	あの日突然	鹿児島 婦人少年会長	丹羽 吾江		
9				青少年活動 題目にふせ?	柴山 一雄
16	スライド R.C. 会員組織の原則	がハナ一事務局			
22	骨 董	南日本 芸術学園講師	川那郎 澄		
30				クラブ協議会 R1会長講演に511	
11.6	アメリカで会った 孫のな人達	康大医学部4年	毛利通 宏		
12	0-911- 昨団週刊に当り?	地産0-911- 昨団委員長	大津 享生		

11.20	映画 面ドツの村ヅリ	鹿銀提供		
27		鶴岡元会長	張紹澔	
12.4	グループ・アーツに 参加して	南日本新聞記者	大園純也	
11				クラブフォーラム (クラブ奉仕)
18				
25	歌		板橋 勝	
1/1	① 休会			
8				新年家族会(鶴家)
15	休会(成人の日につき)			
22				クラブ協議会 (各委員会と期業績及び下期計画)
29			年次総会	雑誌出版に当り 米倉香雄
25				文化財保存に当り 増一郎
12	映画 宇宙へのかけ橋	アムカ文化センター		
19	デイトヒケ	鹿大教授	柳川 算行	
26				ローリー創設65周年に当り 佐伯会長
1				鹿島視察報告 川村 洋
35				クラブフォーラム (国際奉仕)
12	循環器と成人病	鹿大立病院 循環器科部長	福田正臣	
19	国際親善に当り	鹿大講師	沼田 史太郎	
26				クラブ創設70周年を迎えて 梅英元会長 久保田副会長
42				国鉄の話題 中山 和春
9	映画 南島異聞	MBC提供		



4/16	青少年の教育	県教育長	鮫島文男	
28				石博漫談 岩元伸吉
30	尺八人生	国鉄鹿児島工場	大津如風	
5/7				クラブフォーラム (社会奉仕)
14	当面の県農政	県農政部長	森脇隆	
21	歌の心について	昭和音楽大教授	奥田良三	
28				ガキ漫談 川路清高
6/4	鹿児島に来たから今迄	交換学生	ビビニ・カニール 2-2R1=4=7	
11	映画 躍進鹿児島	MBC提供		
18				職場例会(国鉄鹿児島工場)
25				クラブ協議会 (年報報告)

## 広報委員会報告

委員長 河井時義

委員 川上欽太郎

増 一郎

クラブ外の地域社会の人々に対し、ローリークラブについての理解を深めるためにクラブ情報の広報につとめた。クラブ内に対しては、会員が各自の事業を通じて、地域社会にローリー精神を昂揚して之を実践することか広報であることを認識していただく様にお願ひした。

主な行事は下記の通りである。

44. 6. 17 会長就任。  
8. 9 米交換学生来鹿  
ロドニー・K. ショリー マーク・R. エアリング  
8. 10 3高校生 鶴岡派遣  
8. 17 鹿見島市のクラブ合同で女子学生派米  
8. 21 日高ガバナー公式訪問  
8. 26 米人学生のインタビュー記事。  
8. 28 第3地区 グループスタディチーム (向登団長)  
派米 大団記者  
10. 11 鹿見島ローラーアクトクラブ結成に際し  
合同で報道  
10. 12 鶴岡クラブ派遣 高校生来鹿  
11. 8 年次大会参加者 100名に上り大会の  
9 模様は大々的に報道された。  
45. 3. 27 社会奉仕活動として諏訪下スポーツ  
少年団表彰  
その他 会員の投稿記事掲載  
鹿見島市と鶴岡市の兄弟都市盟約式  
に際し当クラブと鶴岡クラブの緊密な  
関係を報道  
5. 8 県下ローラークラブ 懇親スポーツ大会

## 親睦委員会報告

委員長  
委員

中村善治

若松新一

池田稔

高網博明

渡辺 匡

永田良司

堀井香志

岩元基

瀬上 一郎

今年度の親睦委員は新人ばかりであったが、全員良く協力してその使命の達成に努力しました。即ち

1. 毎月一例会日にその月の該当者に誕生祝、結婚祝を贈り、誕生者に対しては全員でバースデーソングを唄い、これを祝った。

2. 44年9月25日午後6時より城山観光ホテルにおいて恒例の親睦家族会を開催し親睦を深めた。

3. 45年1月2日鶴家に於て新年家族会を開催し、レジャーアクトを交へて親睦を深めた。

4. 新人をよく知つて貰うため前年から引続いて3分間スピーチを実行して貰った。

5. 5月9日 県下ローリークラブのゴルフ大会を伊集院コースで開催し 善戦し 2位となった。
6. 5月20日 新人がクラブに融和するため 愛丸に於て夕食会を開催し 大いに親睦の契をあげた。
7. 6月6日 クラブ内親睦ゴルフ大会を吉野コースで開催した。

以上先輩にならぬ努力し、親睦の契を挙げる事が出来たと思っております。

### ローリー情報委員会報告

委員長	倉園 清市
委員	川村 洋
"	田平 礼章

1. 新入会員に対しては、出来るだけ、入会劈頭にはローリアンとしての在り方の把握に資する文献や資料を配布し若干の説明を付して、不十分ながら個別指導にとめた。
2. 前年度から本年度にかけて新会員の入会がかなり多かったので、会員の持典や責任を早く理解し、クラブへの同化を速めるため炉辺会合を開催したが、僅か1回に終わった。
3. 年度頭初に 樹てた計画のうち週報へのローリー

情報掲載が、他委員会との協力を得て数回実現した  
ことはありがたい。

### 会報 雑誌委員会報告

委員長	米倉 秀雄
委員	下野 隆三
、	有菌 敦男
、	片平 敦

1. 週報を印刷にした。
2. 週報はクラブの記録として残るよう、又会員の皆様に興味を持たれるように努力した。
3. ロ-911-の友の配布前に主要記事の紹介をした。

### 職業奉仕委員会報告

委員長	土橋 英夫
委員	岡元 健一郎
、	土谷 久雄
、	新福 均

本年度の当初の計画は

1. 職場訪問
2. 高校生との話し合い
3. 優良職業人の表彰

#### 4. 中心企業労使懇談会

② 高校生との話し合は 鶴丸高校 1-9-アフトを通して  
度々行った。

① ③ ④に

6月18日(木)の例会を国鉄鹿児島工場に移して、当クラブ  
初めての職場例会とした。

先づ会員 中山和春工場長の案内で工場内を見学した。  
昼食後 職業奉仕活動の状況について懇談会を開き  
特に人手不足の現在の労使関係の調和の点について意見  
の交換をした。

引当続々優良従業員表彰を行った。

#### 社会奉仕委員会報告

委員長	岩田 太一
委員	森川 登海
"	桜美 四郎
"	藤安 辰造

#### 本年度業績

1. 昭和44年7月鹿児島県下大雨洪水に際し最も被害の  
ひどかった田上地区、川内地区及び会員に対して見舞金  
をおくった。
2. 献血運動に協力した。

3) 身障者安全運転友の会に援助

4) 昨年からの継承事業として市内を明るくする運動に協力し市民安全課を通じ城西公園に水銀灯を寄贈した。

5) 4-711-賞推薦委員会から推薦された諏訪下スポーツ少年団を表彰、記念品を贈呈した。

反省

地域内の福祉、公共教育、保健事業の奥態との接触をさらに密接にしていきたいと思う。

### 青少年奉仕委員会報告

委員長	岡山 栄
委員	桜美 義明
“	高 義朗
“	中山 和春
“	平原 定一郎

1) 鶴丸イニタークト会員2名が市長及び会長のメッセージをもって鶴岡を訪問し鶴岡から鶴岡高専イニタークトクラブ会員2名の来訪があった。

2) 阿蘇「青年の家」で開催されたイニタークト年次大会に会長と委員長が参加した。

3) ワニダーフォーゲルの宿舎、設備等について、当番クラブ

## クラブサービス報告

会務担当 柴山一雄

年度初め今春で行われなかった小委員会(クラブサービス関係の委員長会)を実施し各委員の横の連絡を密にする事により、よりよい運営がなされた。

前半は年次大会のコホストとして我が会員の冷静な目立たない強い実行力に頭の下る思いがした。

これが西ロー94-クラブの一つの特長ならん。

後半前からいわれて実行できなかった若い会員の集いを行い若い会員の貴重な発言を得、今後の若い会員の拡大と積極的な行動を期してその都度此の会を行ふことを確認した。

新クラブ結成に各会員一人一人の心からなる援助を切望します。

## 国際奉仕委員会報告

委員長

新福栄熊

委員

池田 宏

安楽慶一郎

1969~1970年度行事報告

I) 44年7月30日

送出し学生壮行会、ハスポート入手、準備の最終的  
チェック



地区委員会(年間行事計画の決定その他)

福田=ユ-ハカホテル 新福

44年9月19日

送出し学生9名を羽田空港で見送る。受入学生9名を  
羽田で出迎え。東京で泊(三浦、岩永、ハットウ委員JTB1名)

44年9月20日

受入学生9名板付着。空港ビルで歓迎会。福田泊  
鹿見島JRCホストクラブは福田に2マ-スエマ-リーグ、オ-ニ-  
シヨリ-兩人を受取る 新福

9月上旬~下旬

次年度送出し学生の募集計画-----地区委員

44年9月6日7日

才1回オリエンテーション並に地区委員会。対象は国際奉  
仕委員長、ホストファミリー、受入学生、受入クラブ

熊本水前寺共済会館 新福

44年9月24日

次年度送出し学生の募集申込々々切(クラブレベル)

44年10月9日

午後2時 鹿見島JRC募集の派米交換学生の選考。  
10人中より2人選考

・松元 昭憲(ラサール高校)・北元 樹(甲南高校)

於ホテル鶴鳴

44年10月19日

午後1時 於 博多天神ビル

370~373地区委員会、漁業交換学生の選考決定  
鹿児島3RC関係では松元昭憲君(元セール高校)  
○370区は15人中6名決定 補欠2名  
○373区は13人中6名決定 補欠2名

44年11月29日

第37回地区年次大会(鹿児島)の機会に受入学生の第  
2回オリエンテーション

44年12月27、28日

於 佐賀県青年の家

第3回オリエンテーション並に地区委員会、対象は次  
年夏送出し学生と其の父兄及び本年度受入小学生

45年3月26、27日

於 宮崎県青年の家

第4回オリエンテーション並に地区委員会

対象は次年夏送出し学生、本年度受入学生、次期受入  
学生ホストクラブ国際奉仕委員長 新福

45年4月21~27日

地区旅行(370区受入学生は373地区、373区受入学生  
は370地区を旅行)

45年5月21~24日

受入学生 EXPO見学

45年6月13日

於 福岡

地区委員会

新三浦 新福

45年6月中旬

受入学生帰国準備の最終点検.

45年6月25日

於 ホテル 鶴鳴館

JRC 青少年交換委員会

協議並に報告

45年7月4日

来日交換学生送別会

II) 交換学生受入家庭

学生	Rodney K Jolley	Musk Emmarling
受入家庭	1. 古木俊雄 (原RC) 2. 伊集院兼隆 (南RC) 3. 藤安辰造 (西RC)	1. 池田 広 (西RC) 2. 古木俊雄 (原RC) 3. 西前俊英 (南RC)

受入学校

- 鹿児島県立中央高等学校
- 鹿児島高等学校

III) 韓国第275区及第276区の国籍者住宅計画に拠金した.

1人1ドル

IV)

- 1970~71 来日交換学生

Miss Christine Rossi

Jan. P. 1952 (18)

77 Lee Avenue

Father: Insurance Underwriter

Shenectady, N.Y

Catholic

Kagoshima

- 受入学校 鹿児島高等学校

• 1970~71 派米学生

Mr. Akinori Matsumoto  
719 Nishiyama (Host.R.C)

Mr. Gerald M. York  
111 Maplewood Drive  
Scottia. N. Y 12302  
Chairman (Committee)

昭和44年7月～45年5月予算実行額

鹿児島西0-911-737

費目	自由予算額	44.7～45.5 至自由経費	差引残高	摘要
地正協会	839,500	670,000	169,500	登録料、コホスト協会の徳出金等地
地正協会	1,000,000	250,000	750,000	登録料 宿舎費
地正資金	87,500	82,300	4,200	700×59% 700×60%
地正青年資金	27,500	25,700	1,800	300×59% 300×60%
小計	1,064,500	814,000	250,500	
万博協力金	247,500	237,500	1,000	250×59% 150月×60%
札幌聖台協会	62,500	5,950	300	50×59% 50月×60%
福大事業費	30,000	6,000	24,000	車代
会議	50,000	55,994	△ 5,994	県下会長幹事会、4ヶ月分(4月)の代
会費	1404,000	1,208,110	1,000,890	例会会費等代
雑費	70,000	52,100	16,900	前会長、幹事記念品代、見舞金等地
備品	10,000	2,365	7,635	観望92才 580×6才
小計	1,595,000	1,450,269	144,731	
予備費	9,731	0	9,731	
合計	4477,631	4259,136	218,495	
6月10日繰越金		44762		

## 基金特別負担金予算実行額

収 入	費 目	年間予算額	44.7~45.5 予算実行額	差引残高	備 考
	前年度繰越金		278,250	0	278,250
基金特別負担金			40,000	40,000	5000×6名会員の特別寄付(10,000)
	合 計			318,250	
	6月7日の繰越金	318,250			

## 二〇二〇案件予算実行額

収 入	費 目	年間予算額	44.7~45.5 予算実行額	差引残高	備 考
	前年度繰越金		22,711		22,711
寄付金収入			132,540	132,540	
雑収入			1,546	1,546	
	計			216,797	
支 出	〇-71-財団へ寄付		37,060	179,737	
	6月7日の繰越金	179,737			